

たくさんの方が来訪した内覧会

3月6日と7日の2日間にわたって開催した内覧会には、6日86名、7日34名の合計120名の方々に来ていただきました。倶知安町民のほか、周辺の町村や小樽市、伊達市などからも訪れる方がいらっしゃいました。職員が各部屋を紹介すると、来ていただいた方々から「きれい!」「木のぬくもりがして優しそう」といった感嘆の声が聞かれました。

また前日に北海道新聞社から取材を受け、開催当日に記事を掲載されたことで「記事を読んで来た」という方々も来られ、関心の高さと地域の期待の大きさを改めて感じました。

3月5日 [木]



取材に来た北海道新聞の生田記者
2時間の取材がまとまってこの記事に

来月、カフェ併設グループホーム 倶知安で開所

【倶知安】精神障害者の就労を支援する町内のNPO法人「ともに」(小林敦子理事長)は、同法人初のカフェを併設したグループホーム「わっくわく」(北3西2)を4月1日に開所する。

同法人は町内でグループホーム6施設を運営、「わっくわく」の開所に伴い計5カ所に統合する。「わっくわく」は木造2階建て延べ床面積約420平方m。総工費は9300万円、国の交付金などで賄った。

カフェは1階にあり、開店は秋の予定で、障害者が自ら調理、接客する。隣接する入所者の食堂は週末に地域のイベント会場として無料開放する。2階には入所者の個室4室や事務室などを設けた。

小林理事長は「接客を通じて就労訓練を行うとともに、健康的な食の提供や利用者との交流で、閉じこもりがちな地域の高齢者の福祉向上につなげたい」と話す。住民向け内覧会を3月6、7の両日午後1時から開く。直接会場へ。問い合わせは同法人☎0136・23・2872へ。(生田 憲)

3月6日付北海道新聞朝刊
カフェや総菜販売は、秋以降を予定しています。

3月6日 [金]

7日 [土]

内覧会当日



新しいグループホームの説明に、興味深く聞いているみなさん



職員も説明に力が入ります!



食堂にある薪ストーブ



消防署に通報できるシステム



業務用機器がそろった厨房



トイレの数はなんと10か所!
うち車いす対応は3か所!

特定非営利活動法人「ともに」
「わっくわく」は国の交付金(厚生労働省)と民間助成金を受け建設しました。正式な事業内容を紹介します。

交付金名	平成25年度地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金(先進的介護施設整備交付金に併せて)
事業計画名	高齢者も障がい者も共に元気に暮らす地域づくり「わっくわく」事業(市町村指定事業)
実施主体	倶知安町
設置主体	特定非営利活動法人「ともに」 事業(既存) ◆障がい者就労支援事業 ◆グループホーム(共同生活援助)事業
施設名	ともに創る地域の和「わっくわく」
設置場所	倶知安町北3西2丁目1-1
建物	新築木造2階建(総床面積423.02㎡)
総費用	101,000,000円(工事費、設計費ほか)
交付金額	30,000,000円
民間助成金	中央競馬馬主協会(障害・視覚障害) 940,000円
寄付金	ろうきん様(視覚・聴覚障害) 150,000円 ヤマワ・1st・2nd様(非常用自家発電機) 300,000円

<事業概要>
1. 障がい者・高齢者が共同で運営する地域交流事業「わっくわく」事業
2. 事業の運営は高齢者・地域住民も参加する運営審議委員会を創設し行う。
◆地域交流コミュニティカフェや喫茶、食堂は障がい者の就労訓練と高齢者の雇用の場として活用する。
◆障がい者が作った野菜や惣菜、手工芸品を喫茶コーナーで販売販売し売上を上げる。
◆山の恵み(山菜)を高齢者の生活の知恵で障がい者とともに発達した事業展開する。
3. 常設障がい者就業訓練場(内)に併設した就業訓練場のグループホーム「まどか」新設
土日や食生活の空き時間、地域の子どもたちや地域住民のたまごの集まりとして開放し世代を超えた交流空間とする。
4. 災害時の障がい者避難施設として機能するよう、非常用自家発電機や電気が通らない避難所(薪ストーブ)を設置。

～わっくわく完成記念講演会のご案内～ お気軽にお申し込みください!
みんなで学ぼう拡大版スペシャル「地域・職場での心の健康を考えよう」
4月25日(土) 午後1時～4時 ホテル第一会館 (無料)

内覧会当日配布した資料

講演会・研修会活動 新事業所設立記念講演会のお知らせ

みんなで学ぼうシリーズ春の拡大版 withともに創るわっくわく完成記念講演会
【地域・職場での心の健康を考えよう】

と き 4月25日 [土] 午後1時～午後4時

と ころ ホテル第一会館(倶知安町)

対象者 こころの健康に関心のある方ならどなたでも

内 容 第1部 基調講演「診察室で考えていること(仮)改訂版」
第2部 シンポジウム「地域・職場で考えるこころの健康」

新事業所「ともに創る地域の和 わっくわく」完成を記念して、「みんなで学ぼう」拡大版スペシャルを開催します。

第1部の基調講演では、倶知安厚生病院精神神経科主任医長の土田正一郎先生が講演いたします。第2部では4人のシンポジストの方々が、地域・職場でのこころの健康について深く掘り下げます。詳細は別紙を参照してください。

入場無料、事前申し込みはいりません。たくさんのご来場をお待ちしております。

グループホーム グループホーム「よろこび」が移転します

4月1日より「グループホームよろこび」は、現在の「ワークショップ ようてい」の建物に引っ越します! それに伴い、グループホーム事務所も同じく新しい「よろこび」へと移転します。

引っ越しに際しまして、グループホームを利用されている方々にはご面倒をおかけしますが、新しい住居でさらに充実した生活ができるよう、職員一同お手伝いしていきたくと思っています。

また移転等に関しまして、利用されている方のご家族や関係機関の皆さまに、文書にてお知らせいたしました。

今後とも、「グループホームよろこび」をよろしくお願いいたします。
(みた)



みんなで学ぼうシリーズ 幡先生最終講義、堀之内先生も今月で最後です。



↑幡先生と(2月撮影)



↓堀之内先生と(3月撮影)

2月16日の「みんなで学ぼうシリーズ」は、幡賢先生が異動のため最後の講座でした。2年間勤務した倶知安厚生病院での経験から得られたことを語っていただきました。幡先生は羊蹄山ろくのチーム支援を「他では見られない」とたいへん勉強になったことを話し、「機会があればまた倶知安に戻りたい」と述懐していました。

また今月23日は、こちらも1年で異動になる堀之内徹先生による最後の講座でした。堀之内先生は「精神科医として若い段階でこのような(みんなの)場をいただいて、私も勉強になりました」と話しました。

幡先生、堀之内先生、倶知安での勤務と講座お疲れさまでした。新天地でもますますの活躍を祈っています。